

富秋中学校区等の住環境づくりに関するこれまでの主な意見（アイデア）

- このまちに必要なものが近くにある住環境づくり
 - ・診療所を中心に、高齢者や障がい者向けの住宅を集めた**福祉ゾーン**をつくっては。
 - ・市営住宅の周りに、**施設を集約して多機能施設**（コミュニティ支援や防災）を作っては。
 - ・**公共施設をみんなの場所に**建替える。
 - ・**小児科（診療所）、親子が集まれる集客施設**があれば。
 - ・**校区内に図書館**があると良い。新たに作るなら自習室も併設しては。
 - ・**自転車で行ける距離に運動できる場所**があるとよい。
 - ・新たな施設を作る場合、**池上町や富秋町からも行きやすいまちの真ん中に作る**べき。
 - ・**使っていない集会所を**（小さな）図書館にする、まちなかに**小さなスペース（サロン等）**。
 - ・誰もが集まれる**大きな集会所**。
 - ・青少年センターなど分かりやすく目立つ場所に移転。
 - ・まちの真ん中に益踊りが出来る広場（放光池公園の代わり）。
- コミュニティや自然な見守りのある住環境づくり
 - ・ひきこもり状態の**高齢者を外へ引き出す方法**（例：麻雀やカードゲームなどできる場）。仕事を引退した人が、小遣い稼ぎができる**作業場のようなもの**が有効では。
 - ・**複雑な家庭環境の世帯も受け止められる**のがこの地域の良さ。このまちはサポートを受けられる、ということが伝わるまち。
 - ・**居場所を増やして**、子どもが自分の居場所を複数から選べるのが大事。
 - ・空き家等を生かして**ふらっと立ち寄れる場**（相談目的ではなく、気軽に来られる場）。
 - ・幼稚園～中学校の**親同士が繋がる・話し合える場**。
- 多世代がミックスする住環境づくり
 - ・**若年世代が住める場所（駅近マンション、戸建て住宅、民間アパート等）**。
 - ・市営住宅建替え後の**余剰地に多様な収入層が住める住宅**を整備。
 - ・若い人向けの1LDK住戸、アトリエ付住宅。
 - ・建替え後は**世帯のニーズにあった多様なバリエーションの住戸**タイプがあるとよい。
 - ・市営住宅の下階に高齢者、上階に若者など、**多世代ミックスのコミュニティ**を作っては。
 - ・**障がい者グループホーム**を作る。
- 若い世代が住みたくなる住環境づくり
 - ・市営住宅の**空き住戸**に桃山学院大学の**学生寮**を作っては。（勉強教えてもらい学力アップ）。
 - ・高齢者と若者が一緒に運営する**シェアハウス**。
 - ・**空き住戸に留学生**を呼び込む。
 - ・補修しない代わりに家賃を半年分減免する**DIY住宅**。
 - ・市営住宅に、子育て世帯が住みたくなるような特典、**入居要件の緩和**。
 - ・**旭保育園跡地を子育て世帯のための施設**として活用しては。
 - ・団地の**空きスペースを出店やアートスペース**にする。

今日の検討テーマ（●：関連事例）

- 1 高齢者や子育てを支援する施設・空間・サービスが併設した住宅・まち**
 - **高齢者・障がい者・子育て支援施設**と地域の**相談窓口**がある住宅
 - **高齢者住宅・施設**を中心に**地域交流**する団地
 - 高齢者も子育て世帯も、ずっと**安心・活躍して暮らせる**まち
 - 高齢者の**やりがい**と**子どもとの交流**のある住宅
- 2 自然な見守りを可能にするまち**
 - **専用庭**や**共同菜園・花壇**を通じて交流する団地
 - **芝生、デッキ、家庭菜園、カフェ**に人が訪れる団地
 - **廊下空間**を「**交流の場**」とした住宅
 - **団地内の歩行空間に人の流れとたまり場**をつくった団地
 - 地域の人が**ふらっと寄り合える場**があるまち
- 3 多様な住まいがあるまち**
 - 公営住宅団地から、**公営住宅、高齢者向け住宅、戸建住宅**が**混在**するまち
 - **公営住宅団地と分譲マンション**が一体となったまち
 - 高齢者住宅・学生向け住宅、福祉施設、カフェ、日用品、温泉が集う「**ごちゃまぜの街**」
- 4 若い世代が住むまち**
 - 空き住戸を**学生寮**とし、学生が自治会活動に参加する団地
 - 空き住戸を**若者向けのシェアハウス**とした団地
 - **DIY**（日曜大工）できる賃貸住宅
 - 空き住戸を**大学の活動拠点**とした団地